水質汚濁に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料

フルエンスルホン

. 評価対象農薬の概要

1.物質概要

化学名 (IUPAC)	5 - クロロ - 2 - (3 , 4 , 4 - トリフルオロブタ - 3 - エン - 1 - イルスルホニル) - 1 , 3 - チアゾール					
分子式	C ₇ H ₅ ClF ₃ NO ₂ S ₂	分子量	291.7	CAS NO.	318290-98-1	
構造式	CI S SO ₂ F					

2.作用機構等

フルエンスルホンは、フルオロアルキルチオエーテル基を有する殺線虫剤である。 その作用機構は不明であるが、ネコブセンチュウに直接接触することにより殺線虫 効果を示すと考えられている。

本邦では未登録である。

製剤は粒剤が、適用農作物等は野菜及びいもとして、登録申請されている。

3. 各種物性等

外観・臭気	白色固体、特有臭	土壌吸着係数	$K_{F}^{ads}_{OC}$ =140 (20 ± 1 、日本土壌) =150 - 250 (20 ± 1 、海外土壌)			
融点	34.4	オクタノール / 水分配係数	logPow =1.96 (25 、 pH7.4)			
沸点	282.5 (100.2kPa)	生物濃縮性				
蒸気圧	3.1 × 10 ⁻² Pa (25)	密度	1.9 g/cm ³ (20)			
加水分解性	5 日間安定 (50 ; pH4、7、9)	水溶解度	545 mg/L (20)			
水中 光分解性	半減期 10.75 時間(春季太陽光換算 2.6 日) (滅菌緩衝液、pH7、25±2、45.5W/m²、300-400 nm) 9 時間(春季太陽光換算 2.2 日) (滅菌自然水、pH8.16、25±2、45.5W/m²、300-400 nm)					

. 安全性評価

一日摂取許容量(ADI) 0.014 mg/kg 体重/日

食品安全委員会は、平成 27年 12月 22日付けで、フルエンスルホンの ADI を 0.014 mg/kg 体重/日と設定する食品健康影響評価の結果を厚生労働省に通知した。

なお、この値はラットを用いた2年間慢性毒性 / 発がん性併合試験における無毒性量 1.4 mg/kg体重/日を安全係数100で除して設定された。

. 水質汚濁予測濃度(水濁 PEC)

1.製剤の種類及び適用農作物等

申請者より提出された農薬抄録によれば、本農薬は製剤として粒剤があり、適用農作物等は野菜及びいもとして登録申請されている。

2. 水濁 PEC の算出

(1)非水田使用時の水濁 PEC (第1段階)

非水田使用時において、PEC が最も高くなる使用方法(下表左欄)について、第1段階のPECを算出する。算出に当たっては、農薬取締法テストガイドラインに準拠して下表右欄のパラメーターを用いた。

PEC 算出に関す	ける使用方法	各パラメーターの値			
適用農作物等 野菜		I: 単回・単位面積当たりの有効成分量 (有効成分g/ha) (左欄の最大使用量に、有効成分濃度を 乗じた上で、単位を調整した値)	6,000		
剤型 2%粒剤		N _{app} :総使用回数(回)	1		
当該剤の単回・単位面積当たり最大使	30,000 g/10a	D _{river} :河川ドリフト率(%)	0		
用量	33,222 8,223	Z _{river} :河川ドリフト面積(ha)	0.11		
地上防除/航空防除 の別 地上防除		Ru: 畑地からの農薬流出率(%)	0.02		
使用方法 全面土壤混和		A_p :農薬使用面積(ha)	37.5		
総使用回数 1回		Fu: 施用方法による農薬流出補正係数	0.1		

(2)水濁 PEC 算出結果

使用場面	水濁 PEC (mg/L)			
水田使用時	適用なし			
非水田使用時(第1段階)	0.00001317			
うち地表流出寄与分	0.00001317			
うち河川ドリフト寄与分	0			
合 計1)	0.00001317 ÷ <u>0.000013 (mg/L)</u>			

¹⁾ 水濁 PEC の値は有効数字 2 桁とし、3 桁目を四捨五入して算出した。

.総合評価

1. 水質汚濁に係る登録保留基準値

登録保留基準値						0.0	37 n	ng/L
以下の算出式により登録保留基準値を算出した。①								
0.014 (mg/kg 体重/日)	×	53.3 (kg)	×	0.1	/	2 (L/人/日)	=	0.0373(mg/L)
ADI		体重	10) %配	分	飲料水摂取量		

¹⁾ 登録保留基準値は、体重を 53.3kg、飲用水を 1日 2L、有効数字は 2 桁(ADIの有効数字桁数)とし、3 桁目を切り捨てて算出した。

<参考> 水質に関する基準値等

(旧)水質汚濁に係る農薬登録保留基準 1)	なし
水質要監視項目 2)	なし
水質管理目標設定項目 3)	なし
ゴルフ場暫定指導指針4)	なし
WHO飲料水水質ガイドライン 5)	なし

- 1) 平成 17 年 8 月 3 日改正前の「農薬取締法第 3 条第 1 項第 4 号から第 7 号までに掲げる場合に該当するかどうかの基準を定める等の件」(昭和 46 年 3 月 2 日農林省告示 346 号)第 4 号に基づき設定された基準値。
- ²⁾ 水質汚濁に係る要監視項目として、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべきとされた物質に係る指針値。
- 3) 水道法に基づく水質基準とするには至らないが、水道水質管理上留意すべき項目として設定された物質に係る目標値。
- 4)「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針の一部改定について」(平成22年9月29日付け環水大土第100929001号環境省水・大気環境局長通知)において設定された指針値。
- 5) Guidelines for drinking-water quality, fourth edition

2.リスク評価

水濁 PEC は 0.000013 mg/L であり、登録保留基準値 0.037 mg/L を超えないことを確認した。

<検討経緯>

平成 28 年 7 月 21 日 中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会(第 52 回)